Fons Sapientiae

仙台白百合女子大学図書館報 フォンス サピィエンティエ

Information
de la Bibliothéque
de l'Université SENDAI SHIRAYURI

No.4
2008.3.31

図書館は活字とデートの場である

総合福祉学科長　半田芳吉

新しい図書を手にしてはじめにやること、それはインクの匂いをかぐことである。次に読みやすいように、本がいたまないように真ん中ページを開き手で押さえ、もう四半分を開き押さえと繰り返していくのである。そして、目次に目をとおして、作者のあとがきを読むのである。一つの儀式であるがこれでわたしのこの本に対する姿勢が決まるのである。

今回、機会があってフィリピンを視察旅行してきた。図書館は勿論、大学、小中高には設置されており、それぞれの校風にあわせた特徴があって興味関心を持たされた。図書館の入り口には大きく“WELCOME”と張り紙があり、入りやすい好印象を持った。中に入ると、木材でできた書架がありこれまた暖かい雰囲気であり、懐かしさを覚えた。

ところで、公式的には認められていない学校に案内された。マニラ市内には都市型の貧しい住民が生活しており学校に行けない子どもたちがいるのである。その子どもたちに、シャルトルのシスターによる教育が行われているのである。幼児から中学校ぐらいの子どもが通ってきているという。そこでは子どもたちに食事も提供されていた。また、それまで外注していたシャルトル校の制服を、子どもらの母親たちに制服つくり（縫製）に参加してもらい、就労支援をして生活の自立支援まで行っているのである。この学校にも小さいながら図書館が設置されていた。図書館の壁際にうずたかく積まれた図書が目に入ったので尋ねてみた。このようないわゆる無認可でシャルトルのシスターによる教育をしている学校がいくつかあり、また増設の予定があるらしく、そこへ図書を届けるとのことであった。図書（活字）は生きているのである。活字というぐらいだから“生きた字”である。だから図書は遠くへ出かけていってあたらしい子どもたちと出会うのである。

生きることは人との出会いの連続といった方がいるが間違いないことは確かである。でも会えない人もいる。偉人、アンデルセン、志賀直哉、藤沢周平、小松源助、呉秀三など先人たちである。この人々の物語、理論、知識などは図書を通してはじめてお会いできるのである。図書館は活字との出会ういわばデートの場所である。デートしていくと疑似体験とともに新しい知識が静かに、時には衝撃的に魂を揺さぶられることがある。その感動こそが新しい未来を、世界を約束してくれるのである。フィリピンの子どもたちも目を輝かせて読書にふけっていた。この子どもたちの姿を目の前で見たとき、なんか遠くに忘れてきたものに気づかされた感じである。

Contents

1　図書館は活字とデートの場である
2　推薦図書
3　利用者の声
4　図書館からの情報
6　新着図書の紹介
7　図書館雑感③
8　図書館の簡単な使い方とご案内
8　編集後記

S ERENDIPITY ～こんな本に出会いました

推薦図書

＊セレンディピティ：思わぬ掘り出し物を見つける才能。偶然貴重な発見をすること。

EQ～こころの知能指数／ダニエル・ゴールマン著　土屋京子訳　講談社

国際教養学科教授
植竹由美子

1996年に本書が出版されて以来、EQという言葉をよく耳にし、目にするようになりました。「社会生活におけるEQの重要性を再確認しよう。」という著者の提案に、多くの人々が注目し、そして強い共感を覚えたからにほかなりません。

そもそもEQとは何でしょうか。本書によれば、論理的な思考、言語、数的処理といった知的活動を行う能力（IQ）とは質の異なる、私たちの持つもう一つの知性、つまり「感じる知性」のことで、次のような能力を指すということです。

まず第1に、自分は今どんな感情を抱いているか、なぜそうした感情を抱くに至ったかを自己認識する能力。第2に、自分の感情を適切な状態に制御する能力。第3に、自分自身の目標を設定し、目標達成に向けて日々意欲的に打ち込む能力。第4に、相手の身になって感じたり、考えたりできる共感力。そして第5に、相手の感情をうまく受け止めながら、上手に自分を表現し、また相手の話に耳を傾け、集団の中で協調し協力し合う能力等です。

こうしたEQ能力は、実社会においてよりよい人間関係を育み、よりよい成果を生み出す原動力になります。たとえ困難な場面に直面しても、周囲と積極的にコミュニケーションを図りながら、冷静に、前向きに物事を判断し解決していくことが期待されるからです。学生の皆さんには、社会人になる前にぜひ一読をお薦めしたいと思います。

博士の愛した数式／小川洋子著　新潮社

学生課長
小野和子

文章の中に多くの数式や数字が入っていてもこんなに面白い小説になるのだととても感心して読みました。その後映画化されたので、本で読んだり、映画で見てご存知の方も多いと思います。

この小説は、17年前に交通事故で、脳に損傷を負い記憶が80分しか続かないが、昔の記憶や学んだことは忘れていない老数学博士と、その家に家政婦紹介所から派遣された家政婦と、その家政婦の10才の息子の物語です。背後には博士の後見人の義姉も登場し、物語に重要な位置を占めています。

博士のとても特殊な境遇の中で、子供に対する愛情の深さと、教育者としての素晴らしい数学の教え方、家政婦の息子との共通の趣味である野球が、この小説に暖かい人間味を出しています。それに、野球の好きな人、特に阪神タイガース、昔の江夏投手ファンが読むと江夏投手の当時の活躍が思い起こされ嬉しくなるでしょう。また、スポーツは多くの数字で成り立っているのだと気付かされます。友愛数、素数、完全数や三角数の数式などが、数学は美しい・いさぎよいなどの言葉と共に分かり易く書かれてあり、数学が苦手でも読んでみると数学が少し理解出来るような気がします。

人を動かす／D・カーネギー著　創元社

人間発達学科（3年）
曽我梓央

私の推薦図書は、D・カーネギー著「人を動かす」です。自己啓発書の元祖とも称され、著者の経験に基づく多くの例を挙げています。世界で1500万部以上売り上げており、日本では発売から半世紀になろうとしていますが、今でも売れ続けている超ロングセラーです。本の表紙を見ると、すぐに次の文章が目に飛び込んできます。「議論や理屈で打ち負かしても、相手は決して納得しない。逆に反感をつのらすだけだ。人を動かすには、相手の立場に立ち、望んでいることをつかめ。正当に評価せよ。誠実な心で接すれば、人は必ず心を開く。人を動かすには人の心を動かすことだ。人間関係のバイブルとして、世界的にベストセラーになった、カーネギーの代表作。」この文章が著者の言いたいことをすべて要約しています。

本の各部の最後には、箇条書きにポイントがまとめられています。時間がないときは、ここを読むだけでも参考になります。

基本的に書いてある原則は「笑顔を忘れない」「人の立場に身を置く」「長所をほめる」「名前を覚える」など、どれも単純明快で普通に当たり前のことです。その当たり前で単純な原則にこそ真実がありそうです。大切なことは、人を動かそうと思って無理に理論や理屈で通そうとするのではなく、人を理解し尊重し、信頼すること。そういう一つ一つの積み重ねが相手に伝わりコミュニケーションがうまくいき、自分のために動いてくれるのだと思います。

本書の中に「聞き手にまわる」、という項目がありました。自分が1つ話したら、相手の話を2倍よく聞くようにと心がけることがこれから生きていく上で大切だと思います。

3年生も終わり、就活が忙しくなってきました。企業の人事担当者に会ったときに、見た目は8割で印象は30秒で決まるようで、「清潔感」や「素直さ」に気をつけるように、と就職ガイダンスなどで教えていただきました。この話を聞いて単純な私は茶髪から本来の黒髪に変身しました。この本を参考に就職試験の難関を突破していきたいと思います。

本のにおいの中で過ごす私だけの時間

利用者の声・こえ・コエ……

図書館を利用して

総合福祉学科（3年）　横山美帆

私は、本を読むことが好きなので１年で図書館を案内してもらってから何度も利用させてもらいました。静かで、日の当たる図書館で面白そうな本を探したり、授業で使う資料を見ているとあっという間に時間が経ってしまいます。図書館に行くたびに新しい本は入っていないかチェックするのが自分の日課になっています。

また、本や資料を借りたり、見るだけではなく自分が図書館に入れて欲しい本も沢山入れてもらいました。自分のお気に入りの本が自分だけでなく皆さんにも読んでもらい興味を持ってもらえたらいいなと思います。図書館がリニューアルして、本や資料が探しやすくなっただけではなく、冊数も増えてますます利用する回数が多くなりました。福祉分野の専門書が増え課題や、実習の資料集めなどにとても助かっています。図書館の職員の方々も優しい親切な方ばかりだと思います。パソコンで資料を探して見つからない時や古書で奥にしまってある本を探す時など一緒に探してくださったり、探し方を丁寧に教えてもらいました。そして、資料をコピーした時になかなか上手くいかずに戸惑っていた所助けていただいたこともありました。本や資料を借りる、返すことだけではなく職員の方々には色々とお世話になっていると思います。朝、図書館に行くと「おはよう」と挨拶をしてくださり嬉しく思いました。

３年間、今まで専門書だけではなく自分の好きな小説や興味のある分野など色々な本を楽しまさせてもらいました。これからも、図書館を利用していきたいと思います。

図書館を利用して

健康栄養学科（3年）　嘉藤久美子

改めて考えると、学年が上がるにつれて図書館を利用する機会が増えてきました。

１年以上経った新図書館は今も変わらず、とてもきれいで使いやすいと思います。静かな空間なので集中が出来、晴れた日は窓から明るい光が入ってくるので、勉強をする際などは日当たりの良い席に座ります。そして静かなので集中できます。静かで明るく暖かい、何とも言えない白百合の図書館の雰囲気が私は好きです。

私は健康栄養学科なので、大体３階の専門書籍しか見ませんが、他の階に足を移せば本当に様々な種類の雑誌や本が並んでおり、目を軽く通すだけでも興味を引き出されるような気がします。健康栄養は他の学科に比べて専門書が少ないような気もしますが、新しい本が沢山入ってくるので新しい情報を得られるのは良いと思います。

さらに最近になり、時間を見つけてDVD鑑賞をするようになりました。

DVDは邦画・洋画・アニメ等々、沢山の種類があり、その時偶然選んだ作品から訴えられ自ら考え得るものもありました。

図書館には様々な物が揃っており利用空間が広いので、これからもこのような空間を作って下さる職員の方々に感謝をしながら活用して行きたいと思います。

電子ジャーナルの紹介

図書館からの情報

電子ジャーナルとは、主にインターネット上で電子的に提供される雑誌または、定期的に更新される情報を指します。従来冊子の形で刊行されていた雑誌のオンライン版が大部分ですが、中には対応する冊子を持たないオンラインのみのものもあります。主にネット上でHTML形式のテキストとして閲覧できますが、PDF形式のファイルを用いて雑誌と同じ形で、閲覧も印刷もできます。電子ジャーナルの利点としては、全文の検索ができるほか、各論文にリンクが張られていて必要な時に簡単に参照できることが挙げられます。さらに、冊子体ではできない画像データ情報や更新情報の追加ができますし、発行までに時間がかかる冊子体に比べて、すぐに閲覧できるというメリットもあります。また、契約にもよりますが、複数の同時アクセスが可能であり、学内であれば図書館の閉館時でも記事の閲覧が可能といった点でも利便性が高くなっています。原則的に欠号が無いので、冊子体購読では時々発生する欠号に関係なく記事を閲覧できますし、場所をとらない省スペースといった利点も挙げられます。ただし、比較的高額なものが多いので、予算がなくなって契約を解除しアクセス権を失うと、冊子体のように保存されるものがない点を考慮する必要があります。本学では、昨年度より図書館のホームページ上で電子ジャーナルが閲覧できるようになりました。洋雑誌がほとんどですが、医学関係和雑誌約550タイトルの全文が見られる“メディカル・オンライン”等のデータベースと合わせて、ご活用いただければと思います。

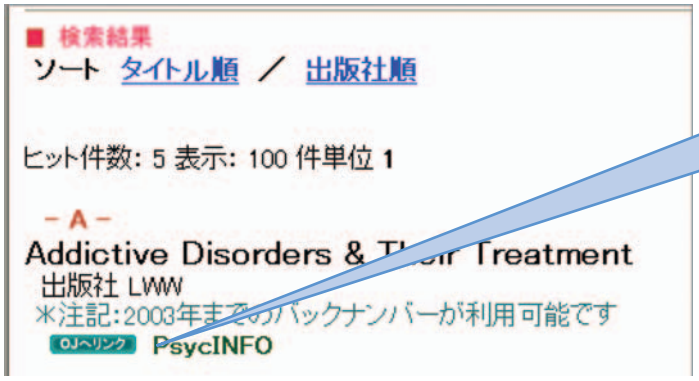
電子ジャーナルをご覧になる時は、図書館のホームページにある**“データベース”の項目をクリック。**

電子ジャーナルのタイトルが表示されているものは、直接その**タイトルをクリック。**
出版社のHPへつながります。

Kinokuniya Journal Webは、本学が紀伊国屋書店と契約している電子ジャーナルをまとめた総合プラットフォームとなっております。

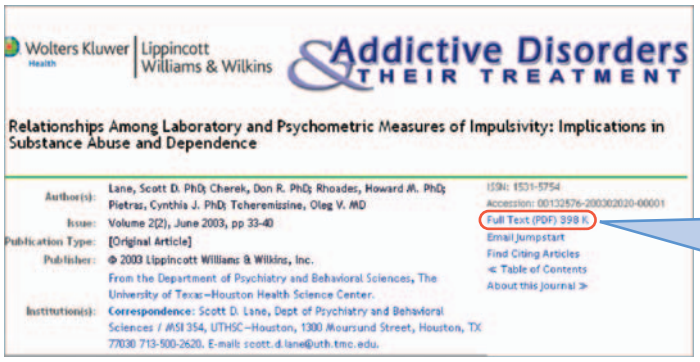
検索画面でタイトルや出版社で検索することができます。

ブラウズでは、タイトルや出版社の**最初の一文字をクリック**するとその文字で始まるジャーナルが表示され、**“All”をクリック**するとこのプラットフォームにあるすべてのタイトルが表示されます。

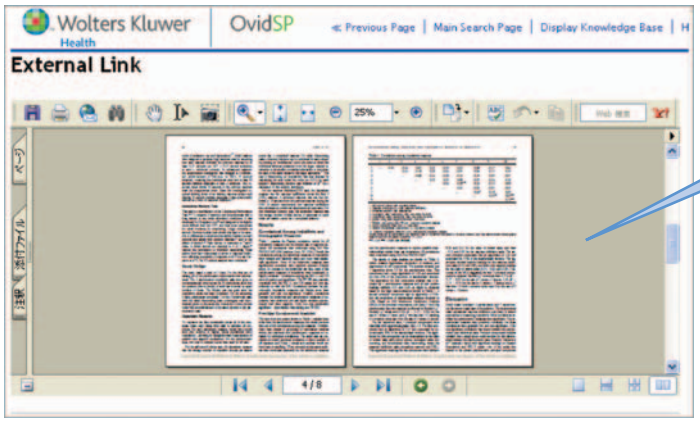


検索の結果が表示されたら、“OJへリンク”というボタンをクリック。
出版社HPに接続してジャーナルを閲覧できるようになります。

洋雑誌ホームページは全文英語です。
利用方法等分からないことがあればお聞き下さい。



雑誌の記事等を検索して見たい号を絞り込みます。
Full text HTMLは全文のテキスト形式です。
Full text PDFは掲載されたイメージ形式です。



記事は閲覧でき、その形式で印刷もできます。

電子ジャーナルにない論文や本学で所蔵していない論文に関しては文献複写を他大学へ申しこむことができますので、こちらもご利用下さい。

図書館利用状況

2007年4月1日～2008年2月29日

学科	専攻	人数	入館人数	%	貸出冊数（冊）	%	貸出人数（人）	%	AV閲覧回数（回）	%	AV閲覧人数（人）	%
人間発達学科		373	3,709	16.0	2,267	24.6	1,139	23.7	292	22.2	268	23.0
総合福祉学科		314	6,995	30.2	2,268	24.6	1,175	24.5	288	22.0	251	21.5
	生活福祉専攻	165	2,623	11.3	1,133	12.3	611	12.7	184	14.0	162	13.9
	人間福祉専攻	149	4,372	18.9	1,135	12.3	564	11.8	104	8.0	89	7.6
健康栄養学科		304	5,680	24.5	2,549	27.6	1,446	30.1	290	22.1	254	21.7
	管理栄養専攻	214	4,205	18.1	2,125	23.0	1,167	24.3	205	15.6	179	15.3
	食物学専攻	90	1,475	6.4	424	4.6	279	5.8	85	6.5	75	6.4
国際教養学科		286	4,395	19.0	1,128	12.2	602	12.6	440	33.5	391	33.5
専任教職員		111	2,021	8.7	789	8.5	340	7.1	3	0.2	3	0.3
一般（非常勤等含）		－	365	1.6	232	2.5	94	2.0	0	0.0	0	0.0
計			23,165	100	9,233	100	4,796	100	1,313	100	1,167	100

図書館から“NEWS”を続々発信！

新着図書の紹介

「ミス・ポター DVD」

レニー・ゼルウィガー 主演
角川映画

1902年、ヴィクトリア朝の封建的な空気が漂う英国。アーティストとして生きることを夢みる一人の女性ビアトリクス・ポターがいた。彼女は幼い頃に湖水地方で出逢った動物たちの絵に物語を添えて、絵本として世に出したいと願っていたが…。
ピーターラビットの生みの親、ビアトリクス・ポターの半生をレニー・ゼルウィガー主演で描いた作品。裕福な家庭に生まれた彼女がいかにして絵本を手がけるようになり、自然派活動に思いを寄せたかが綴られる。

「ピータラビットと仲間たち DVD-BOX」

ニーブ・キューサック［ほか］声
角川エンタテインメント

上記作者が原作で挿絵も描いた、現在もみんなに愛されているピーターラビットの絵本のアニメーション版。「ピーターラビットとベンジャミンバニーのおはなし」「グロースターの仕たて屋のおはなし」など9話収録した4枚組BOX。特典映像に原作者ビアトリクス・ポターのドキュメンタリーを初収録。

「世界一の映画館と日本一のフランス料理店を山形県酒田につくった男はなぜ忘れ去られたか」

岡田芳郎 著
講談社

山形県酒田市に「世界一の映画館」と「日本一のフランス料理店」があった。映画館の名は「グリーン・ハウス」。レストランの名は「ル・ポットフー」。両者を経営した伝説の男・佐藤久一。弱冠２０歳で映画館を経営し、映画評論家の淀川長治に「こんな館を持つ酒田が羨（うらや）ましい」と言わしめ、次いでフランス料理店を開けば、食通でならした作家の開高健から「生まれて初めての体験をしました」との賛辞を引き出す。やりたいことに挑戦し続け、命の炎を燃やし、ことごとくそれを実現させてきた、その生涯を綴る。

「おくむら あやおの ごはん道楽！」

奥村彪生 著
農山漁村文化協会

米の飯は日本人にとって魂の食べ物なのだ。日本では消費量が減少したとはいえ米好きの人は実に多い。現在の米への消費者の思い入れは、量は少しでもいいから、おいしいご飯を食べたい、に尽きる。おいしい米づくりが要求される。おいしいごはんを炊くために米をどう扱い、どうクッキングするか。日本における米食の歴史や文化をからめながら、調理法やそのコツ、食べ方を分類して、どなたにでも手軽にできるようにまとめたのが本書である。―はじめに
内容：奥村彪生、米食文化を語る（ごはんと日本人；米とのつきあい方の知恵）；おいしいごはんの炊き方指南（ごはんを炊く前にこれだけは；体験的「かまど炊き」の基本）；ごはん道楽-古今東西の米料理（伝統のもち料理；伝説豊かな水漬け、湯漬け、茶漬け；中国起源のご馳走-汁かけ飯　ほか）

「本のさがし方がわかる事典」

金中利和 著
PHP研究所

童話や絵本、小説や食物に関する本、世界じゅうのめずらしい草花がのっている植物図鑑、図書館にはたくさんの本がおいてある。その中から自分の見たい本を探すためにはどうすればよいか？１冊１冊の本は似た内容の仲間ごとにまとめられて、本棚に配架されている。すなわち、読みたい本がどこにあるのか、みんながわかりやすいよう、ルールをもとに分類されている。分類とは、おなじような仲間にわけることであり、日本の図書館のほとんどが日本十進分類法という、数字を使って本を分類する方法に従って図書を配架している。この本では、そうした本の分類のしくみや、それをもとに読みたい本をパッとさがすコツを、わかりやすく紹介している。大変見やすく図書館の活用法にもふれているので、一度は目を通していただきたい本である。

「禁断のパンダ」

拓未司 著
宝島社

柴山幸太は神戸でフレンチスタイルのビストロを営む新進気鋭の料理人。彼は、妻の友人と木下貴史との結婚披露宴に出席し、貴史の祖父である中島という老人と知り合いになる。その中島は人間離れした味覚を持つ有名な料理評論家であった。披露宴での会話を通じて、幸太は中島に料理人としてのセンスを認められ、その結果、中島が幸太のビストロを訪問することになる。一方、幸太が中島と知り合った翌日、神戸ポートタワーで一人の男性の刺殺体が発見された。捜査に乗り出した兵庫県警捜査第一課の青山は、木下貴史の父・義明が営む会社に被害者が勤務していたことをつかむ。さらには義明も失踪していることを知り…。『このミステリーがすごい！』大賞第６回2008年大賞受賞作。

「夢をかなえるゾウ」

水野敬也 著
飛鳥新社

主人公・僕の目の前に、突然現れたゾウの“ガネーシャ”。僕が３か月前にインドで購入した置物にそっくりな姿をし、なぜか関西弁で話す、とてつもなく胡散臭い自称“神様”と、成功契約を結んでしまった僕。ガネーシャは「今から自分が出す簡単な課題さえこなしていけば、お前は確実に成功する」と言うけれど、はたして……。すぐにすねるし嘘をつく、甘い物好きでタバコもやめられない、まったく神様らしくない神様・ガネーシャが僕に命じる課題は「靴をみがく」とか「コンビニで募金する」とか地味なものばかり。「本当かよ！？」と思いながらも、課題を一つずつ実践していく僕。これで本当に成功できるのか？過去の偉人の成功例から導き出される、誰にでも一日単位でできる超実践的な成功習慣を小説に織り込んだ、世界初の成功エンタテイメント！世の中には溢れる成功法則書と裏腹に成功者が増えないという疑問に対する、１つの解答であるファンタジー小説。

水島昭二先生の選択　貧しさの特権

健康栄養学科教授　川上　実

25年程まえのこと、水島昭二名古屋大学農学部助教授は生体膜における物質の出入りのご研究において大活躍をなさっていた。リポタンパク質に作用するシグナルペプチダーゼ遺伝子を同定なさった時、イソロイシン tRNA 合成酵素遺伝子が隣にあるが、右向きか左向きかがわからなかった。正確に分析してほしいと、同じキャンパスにいた私を訪問された。この研究は国際競争にあったテーマであり、水島先生の振る舞いから緊迫した状態が理解でき、私も一丁やるかと武者震いをした。当時、私は名古屋大学理学部分子生物学研究施設にいた。右向きのデーターを出したとき先生から“さすがですね”とほめていただいた。今日、ここで述べたいことは共同研究の内容でなく、何気なく話された水島先生の本音についてである。

水島先生はアメリカにおいて水島野村コンビでリボソームの研究をなさり大変画期的な研究成果を出され日本に帰国された。そして就職先としての２つの大学の選択について私に語られた。“研究者にとっての魅力ある大学”を考えるヒントになり、仙台白百合女子大学にとっても参考になると思う。

東北大学農学部と名古屋大学農学部からのお誘いがあった。彼は名古屋大学を選んだ。高橋甫教授の微生物学の助教授のポストを辞退されたのである。なぜか？

両大学農学部を訪問された。東北大学はすばらしい機器類、文献、外国雑誌があるようだが、新しく来た方が自由に使用できるように工夫されていない。それぞれの研究室が独占的に使用していることが見ればわかったと。名古屋大学農学部はあまりいいものがないが共通機器、共通図書として中央に集めるようにしている。両大学を見て以上のことが分かり、名古屋に赴任をきめられたのである。

かつて私の所属した名古屋大学理学部の図書や機器も集中管理されておらず、講座、研究室に分散していた。理学部教官、大学院学生らも理学部のあちこちの図書室を訪ねるよりも、農学部図書館に駆けつけた。また多くのコピー機が図書館にあり図書館もコピー室も繁盛していた。

我が仙台白百合女子大学の図書館はどうであろうか？学生、教員の姿もほとんどみない。大学が繁盛していないことである。大学以前の問題である。

さてどうすればよいであろうか。歴史の新しい大学の宿命としての貧しさにサボラズ、焦らず、格好をつけないことから始めようではないか。堂々と、貧しさの特権として寄り添うことではないだろうか。図書館の活性化、授業の改善、大学のあるべき姿とかを会議で議論するより、マスール、学長、教職員のみなさんにカフェテリアのステラマリスで学生達と食事を一緒にすることをお勧めしたい。食欲とともに本音の意見、色々な会話が弾み、遠回りのようではあるが大学が繁盛する方策ではなかろうか。

クロアチア全権特命大使ドラゴ・シュタンブク氏が本学を訪問なさった時、学生食堂ステラマリスで昼食をされたのは大使の要望であったと聞く。本当のもてなしは貧しさの共有である。貧しさの共有は力でなくして何であろうか。このあたりが白百合の勝負どころと考える。「金を使うな心を使え」というところかな。

図書館の簡単な使い方とご案内

〈入館〉

図書館を使うときは学生証が必要となります。入館する際は、入館ゲートのスリットに学生証を通してください。ゲートが開いて入館できるようになります。

〈退館〉

ブック・ディテクションが設置されています。普段は手で動かしてそのまま通れますが、資料の貸出手続きを受けないで通過しようとすると、音響がなってゲートのバーがロックするので、ご注意ください。

〈貸出〉

資料の貸出も、1階入口付近に自動貸出機がありますので、学生証を機械に挿入して画面の指示に従って貸出を受けてください。貸出手続きが終わり、画面の終了ボタンにタッチすると、学生証が返却され資料の返却日を印刷したレシートが出てきます。

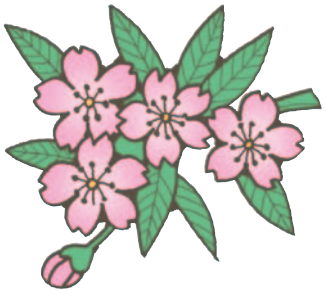
〈検索〉

図書館は、3階立ての独立棟で、各階入口近くに検索用のパソコン2台ずつ置いてあります。本学所蔵の図書・視聴覚資料等が検索できるようになっています。検索結果で、何階にあるかという保管場所、および配架場所(参考書・大形本などは、一般の図書と別置してあります。)を確認して、資料をお探しください。一般の図書の配置は日本十進分類法に従って並べてあります。

わからない点、疑問な点等ありましたら、いつでも気兼ねなく図書館スタッフにお聞きください。

〈図書館検索ツアー〉

図書館では、随時図書館見学ツアーを受け付けております。ある程度まとまった人数で、図書館に直接お申し込みいただくか、各学科の先生を通じてお申し込みください。新入生には、図書館の実際の使い方、資料の検索方法、簡単なデータベースの使い方などを、上級生には卒論等に役立つ高度な検索方法や各データベースの特徴と使い方、文献複写の方法、参考資料の使い方などを説明します。随時受け付けておりますので気軽にご活用ください。



〈図書館会議・研修会等の情報〉

- 6月20日(金) 全国カトリック大学連盟図書館協議会総会 (仙台市:本学会場)
- 11月28日(金) 全国カトリック大学連盟図書館協議実務研究会 (仙台市:本学会場)

✦ 編集後記 ✦

「本のさがし方がわかる事典」という本の中に1.テーマをしぼろう、2.分類記号を調べよう、3.本棚をさがそう、4.目録をじょうずに使おう、の4つが、本さがしのポイントとして書いてある。さっと読んだだけだが、本の分類のしくみがわかり、本探しが容易になり、次々と関連する内容の本が数珠つなぎのように見つかり、本探しが楽しくなって、足繁く図書館に通うことになるのであろうとうれしくなっている。みなさんも読んでみてください。

ところで、図書館報第4号の内容は、学生と職員と教員の皆様の執筆原稿のおかげで、自分たちの図書館であるという一体感がでてきており、少しずつ自負できるものになっていきていると実感している。これからも、女子大学らしい図書館にするために、沢山のご意見やご感想をお寄せください。

(高橋)

2006年10月、図書館リニューアルに伴って発行された図書館報Fonce Sapientiae も、早いもので第4号をむかえました。利用統計は、ほぼ1年間の統計結果を掲載できるようになりました。3つの図書室に分かれていた前年度と比較することは難しいですが、入館利用者が大分増えてきたことは統計に現れているかと思います。さらなる利用者数アップを目指して、図書委員会とともに検討していく所存です。第4号では本学で利用できる電子ジャーナルについて特集を組んでみました。また、新入生を迎えるにあたっての図書館の簡単な利用方法とご案内を入れております。昨年度好評を得た図書館検索ツアーは、今年も継続して行っていきますので、ぜひ参加し、ご意見ご希望等ございましたらお聞かせ下さい。

(生出)

図 書 委 員:大本泉、横尾元意、大坂純、菊地真知子、高橋伸子、川上実
図書館職員:生出登、髙橋成美、須藤清美、濱田富美江、山口普子

Fons Sapientiae 仙台白百合女子大学図書館報 No.4 2008年3月31日発行 仙台白百合女子大学 図書委員会 〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1
tel 022-374-5090 fax 022-374-4577 e-mail: library@sendai-shirayuri.ac.jp